

大会報告

山形県ものづくりコンテスト<電子回路組立部門>

山形県立米沢工業高等学校

菅沼 和章

1 第7回県大会（兼東北大会予選会）について

1) 日程関係

ア 日 時 平成23年6月18日（土）
イ 会 場 山形県立産業技術短期大学校
実験実習棟3F電子回路実習室

ウ 参加者 27名

2) 競技結果

ア) 総 合

- 1位 村上康太（米沢工：電気情報類3年）
100点 <東北大会出場権獲得>
- 2位 菊地浩斗（東根工：電子システム科3年）
95.5点
- 3位 長尾康志（山形工：情報システム科3年）
87点

イ) ハードウェア部門 （2位2名）

- 1位 横山 慎（山形工：電子システム科3年）
- 2位 小関寿樹弥（山形工：電子システム科2年）
- 2位 三浦功大（山形工：情報システム科2年）

ウ) ソフトウェア部門 （1位2名）

- 1位 廣野翔馬（米沢工：電気情報類2年）
- 1位 栗野鷹光（山形工：情報システム科3年）
- 3位 今野陽介（山形工：情報システム科1年）

2 2011 東北大会について

- 1) 日 時 7月29～30日
- 2) 会 場 青森県弘前工業高等学校
- 3) 参加者 7名（各県代表1名と開催県1名）
- 4) 成 績 1位福島県2位宮城県3位青森県
競技時間内での動作確認となり、何度も動作確認を要求してする選手がおり、県代表の村上君は、練習の成果を発揮できず4位となった。

3 第11回 全国大会（東京都）

- 1) 日 時 11月20日
- 2) 会 場 城東職業能力開発センター江戸川校
- 3) 成 績 1位愛媛県2位茨城県3位岡山県
- 4 県大会を振り返り

ハードウェア競技は、上位者については、ミスが無く東北大会でも充分通用するレベル。しかし、

ハンダ量やジャンパー線の水平・垂直度など、まだまだ厳しい審査基準を想定し準備する必要があるのではないだろうか。

ソフトウェア競技の課題は東北大会の仕様に合わせて作っていただき、1/4の選手はすべての課題についてプログラムが出来ていた。入賞者は、すべての課題について動作が出来ていた。今後は「審査を受ける」を意識して、見やすさ・見栄え・字下げ・コメントなども必要と思われた。

全国や東北大会では、毎年審査員が変わるため、採点基準が前年度や県大会と微妙に異なる場合があるので、全国で入賞するには、どんな課題にも対応できるように厳しい条件の下での練習方法を身につけなければならないと思う。

全国情報技術教育研究会のWebページに公開されている「ものづくりコンテスト電子回路組立部門指導書」をぜひ参考にしてください。



5 おわりに

ものづくり人材育成のため、一昨年度より、県大会の会場を産業技術短期大学校とした大会を無事開催できたのは、素晴らしい環境の会場だけでなく、審査補佐員（産業技術短期大学校学生）の御協力をいただいたおかげです。産業技術短期大学校の横山校長先生はじめ関係各位に感謝申し上げます。